

# 武雄と秋田の 絆 再来!

明治新政府軍と旧幕府軍との間で始まった戊辰戦争。東北地方では、多くの藩が旧幕府側につくなか、久保田藩（秋田藩）は新政府側についたため孤立無援となり、新政府の命で佐賀藩兵や武雄の兵士たちが秋田軍救援のために駆けつけました。その際に戦闘で犠牲となった武雄の兵士の墓が秋田に残されています。

1986年にこの武雄兵士の墓の存在が知られ、秋田との交流が始まり、7年後の1993年、それまで門外不出であった秋田の竿燈まつりを初めて武雄で披露。その後、2018年に明治維新150年を記念し披露され、今年再び武雄の地で秋田の竿燈が武雄の夜空を照らします。

## 竿燈とは?

「秋田竿燈まつり」は、毎年8月3日～6日に秋田市で行われる。提灯を「米俵」、提灯が連なった竿燈を「稲穂」に見立て、手のひら・額・腰・肩などにのせ五穀豊穰・無病息災を祈る東北3大祭りのひとつ。国重要無形民俗文化財。

## 竿燈の起源

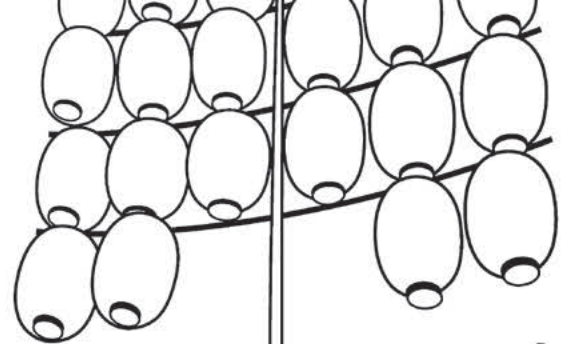
竿燈の起源は、「ねぶり流し」と呼ばれる睡魔払いの七夕行事と言われています。このねぶり流し行事が、旧暦の7月6日の夜に、灯籠をつけた竹竿を手や肩、額に乗せる形式に発展したのが、現在の竿燈の始まりです。

## 竿燈の種類

名称	長さ	重さ	提灯の数
大若(おおわか)	12m	50kg	46個
中若(ちゅうわか)	9m	30kg	46個
小若(こわか)	7m	15kg	24個
幼若(ようわか)	5m	5kg	24個

今年は、「大若」が  
**8本登場!**

演技も  
**8回開催!**



# 竿燈妙技

流し  
ながし



最も握力を必要とし、平手と同じく片手操作の基本となる技。二人で竿燈を起し、利き腕で差し上げたから、次の差し手が継竹を足す。高く差し上げた手のひらに静止し、親指と人差し指の間から15センチほどずらして支える。

腰  
こし



かなりの修練が必要な派手な技。利き腕の手のひらに受けて、持ち上げ、静止させる。指の間からずらして腰に乗せ、上体を程よく横に傾け、両足を開いてバランスを取る。5つの基本技の中でも、クライマックスに映える大技。

技を知ったら  
**感動が倍増!**

平手  
ひらて



竿燈を利き腕の手のひらに乗せて高くとかざし上げて見せる。力強く豪快な基本技。

額  
ひたい



かんとう  
みようぎ

「ドッコイショー、ドッコイショー」のかけ声に合わせて竿燈を手のひら、額、肩、腰などで支え、気迫のこもった渾身の演技を繰り広げます。差し手は、子供の頃から長い修練と努力を重ねて初めて技と力の絶妙なバランスを手に入れ、次代に継承していきます。

肩  
かた



竿燈を上げやすく、最も覚えやすい技。利き腕の手のひらに受け静止させ、利き腕で支えてまっすぐ肩に降ろす。両腕を広げ、軸足と竿燈を一直線にするのが美しいとされる。

11月12日 会場周辺での催し

### ふれあい竿燈「体験」



子どもから大人まで実際の竿燈に触れて体験していただけます。竿燈の体験のほか、記念写真撮影もできます。  
場所／武雄市役所敷地内駐車場  
時間／13:30～14:00

### 物販・飲食コーナー



武雄の人気グルメやイチオシの物産をはじめ、秋田市からはきりたんぼや武雄市出竿限定グッズ、そしてお酒が登場。他にも交流市町の鹿島市、嬉野市、有田町が出店します。  
場所／武雄市役所敷地内駐車場  
時間／13:00～20:00

### 「さがびより」新米のふるまい & 販売



12年連続特Aのさがびよりは、粒が大きくもちりした食感と甘みや香りの良さが特長です。ぜひ会場でご試食ください。  
各回、限定200食  
場所／武雄市役所敷地内駐車場  
時間／①14:00～ ②16:00～

### 同時開催

#### 武雄セラ&アートフェス



4回目を迎える武雄セラが今年も竿燈まつりと同時開催!地元武雄の窯元が大集合し、普段つかいの器や、個性あふれる武雄の焼物が勢揃いします。  
場所／中央公園 しば広場  
日程／10日(木)～13日(日)  
10:00～17:00  
※12日は10:00～18:00まで  
※13日は10:00～16:00まで

その他、秋田の特産品販売、様々なイベントなど武雄市民によるおもてなしがあります!

詳しい場所やその他のイベントは裏面に記載企画内容は、予告なく変更する場合がございます